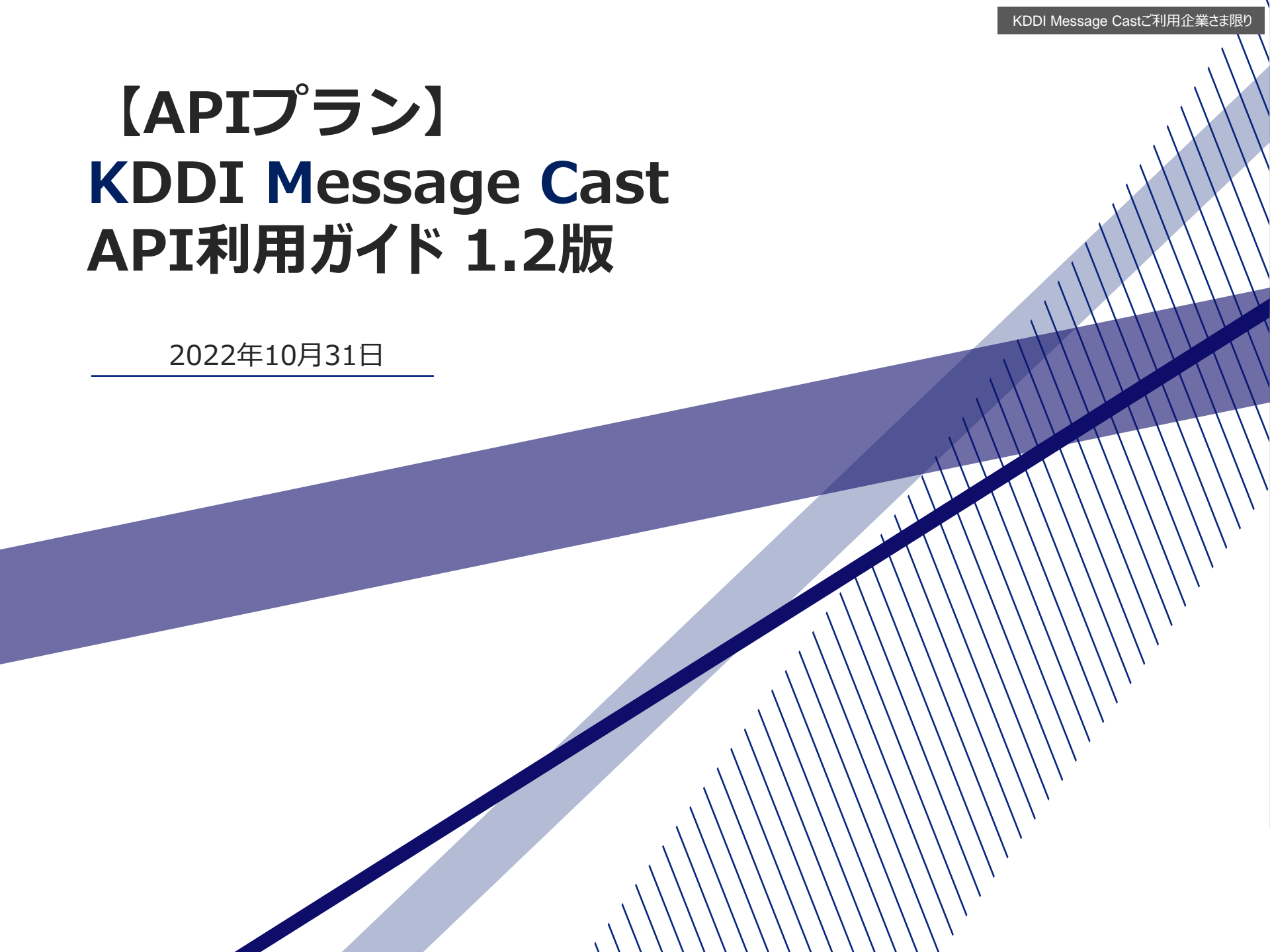


# 【APIプラン】 KDDI Message Cast API利用ガイド 1.2版

2022年10月31日



# 目次

改版履歴

はじめに

用語の定義

設備構成とサービスご提供範囲

APIご利用開始手順とリリース前のご確認事項

## 1. API利用時の注意事項

1.1.セキュリティ要件及び通信方式

1.1.通信方式（SMS利用の場合）

1.1.通信方式（+メッセージ利用の場合）

1.2.配信メッセージの保管について

1.3.Basic認証ID、トークン、botIdについて

1.4.メッセージが未到達となる場合

1.5. SMSフォールバック利用時の留意点

## 2. 提供API

2.1. 提供API一覧

2.2. メッセージ配信API（SMS配信）

2.3. SMS配信結果通知

2.4. SMS-MOメッセージ通知

2.5. メッセージ配信API

2.6. メッセージ配信API レスポンス

2.7. メッセージ配信API（+メッセージ配信）

2.8. Webhook 処理フロー

## 3. 利用イメージ

3.1.メッセージ配信API：SMS

3.2.メッセージ配信API：+メッセージ<テキスト>

3.3. メッセージ配信API：SMSフォールバック

3.4. メッセージ配信API：+メッセージ<メディア>

3.5. メッセージ配信API：+メッセージ<地図情報>

3.6. メッセージ配信API：+メッセージ<リッチカード

3.7. メッセージ配信API：+メッセージ<カルーセル>（1）

3.7. Send Message：+メッセージ<カルーセル>（2）

参考資料：APIのテスト実行方法

参考資料：メッセージ配信APIの実行

参考資料：配信ステータス確認APIの実行

参考資料：ルート証明書及び中間証明書について

# 改版履歴

版数	改版日	見出し名	改版内容
1.0版	2021年5月31日	全て	初版作成
1.1版	2022年5月20日	目次	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規ページ追加 参考資料：ルート証明書及び中間証明書について</li> <li>既存見出し名の変更及びページ順序変更               <ol style="list-style-type: none"> <li>API利用時の注意事項配下の見出し</li> <li>提供API配下の見出し</li> <li>利用イメージ</li> </ol> </li> <li>APIのテスト実行方法に関するページ(参考資料)を修正</li> </ul>
〃	〃	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連ドキュメント名を修正</li> </ul>
〃	〃	用語の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>APIの説明を修正</li> <li>Webhook通知の4パターンを追記</li> <li>SMS結果通知を追記</li> </ul>
〃	〃	APIご利用開始手順とリリース前のご確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMS結果通知はオプションである旨を追記</li> <li>Webhook/SMS結果通知先設定時に疎通確認テストを弊社より実施する旨を追記</li> <li>疎通確認テストの内容を追記</li> </ul>
〃	〃	1.1. セキュリティ要件及び通信方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMS配信時/+メッセージ配信時のトークンの設定値を追記</li> <li>項目の追記：botId</li> </ul>
〃	〃	1.1. 通信方式（SMS利用の場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用企業さまからの返却値の表記修正 200OK⇒ステータスコード200</li> <li>SMS結果通知先URLの指定は1つのbotIdに1つである旨追記</li> </ul>
〃	〃	1.1. 通信方式（+メッセージ利用の場合）	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用企業さまからの返却値の表記修正 200OK⇒ステータスコード200</li> <li>SMS結果通知先URLの指定は1つのbotIdに1つである旨追記</li> </ul>
〃	〃	1.2. 配信メッセージ結果の保管について	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webhook通知の4パターンを追記</li> <li>配信結果を能動的に取得する場合の方法を追記</li> </ul>
〃	〃	1.3. Basic認証ID、トークン、botIdについて	アカウント通知書に記載されていないbotIdの使用は控えていただきたい旨を追記

# 改版履歴

版数	改版日	見出し名	改版内容
1.1版	2022年5月20日	2.1. 提供API一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記載されているAPIの順序を変更</li> <li>・各APIがSMSと+メッセージのどちらで使用するかを追記</li> </ul>
"	"	2.2.メッセージ配信API（SMS配信）	ご利用企業さまへ返却値の表記修正 200OK⇒ステータスコード200
"	"	2.3. SMS配信結果通知	ご利用企業さまからの返却値の表記修正 200OK⇒ステータスコード200
"	"	2.4. メッセージ配信API	下記項目の説明を補記 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア</li> <li>・SMSフォールバック/+メッセージ配信/SMS配信</li> </ul>
"	"	Send Message 各種DTOについて	DTO定義書に記載されているため削除
1.2版	2022年10月31日	全頁	語句の置換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバをサーバーに修正</li> <li>・ユーザをユーザーに修正</li> <li>・企業様を企業さまに修正</li> <li>・キャリアを通信キャリアに修正</li> </ul>
"	"	目次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SMS-MOメッセージ通知を追加</li> <li>・上記見出し追加に伴う既存見出しの見出し番号修正</li> </ul>
"	"	用語の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の用語の定義を修正 API/APIサーバー/JSON形式/エンドユーザー/キャリア/認証ID</li> <li>・下記の用語の定義を追加 SMS-MOメッセージ通知/ケーパビリティ判定/配信ステータス</li> </ul>
"	"	設備構成とサービスご提供範囲	通信事業者のロゴマークの記載方法を修正
"	"	1.2.配信メッセージ結果の保管について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SMSのステータス取得期間を修正(14日間⇒31日間)※</li> <li>・+メッセージのステータス取得期間を修正（31日に統一）※</li> </ul> ※仕様変更です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽天モバイルの表記をRakutenに修正</li> </ul>

# 改版履歴

版数	改版日	見出し名	改版内容
1.2版	2022年10月31日	2.1. 提供API一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 下記のAPIを追加 SMS-MOメッセージ通知</li> <li>• 下記のAPIの定義を修正 サブスクライバリスト取得/SMS配信結果通知</li> </ul>
〃	〃	2.5. メッセージ配信API	発信元表示番号の説明を追加
〃	〃	3.1. メッセージ配信API : SMS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• トークンの設定値を固定値に修正</li> <li>• smsTextEncに設定される文字列を修正</li> <li>• 固定値の記載箇所を（※）で追記</li> </ul>
〃	〃	3.7. メッセージ配信API : +メッセージ<カルーセル> (2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リクエスト文を修正</li> <li>• +メッセージ配信イメージのキャプチャの差し替え（画像が非表示⇒画像が表示）</li> </ul>
〃	〃	1.1. 通信方式（SMS利用の場合） 1.1. 通信方式（+メッセージ利用の場合） 2.2.メッセージ配信API（SMS配信） 2.3. SMS配信結果通知 2.4. SMS-MOメッセージ通知 2.7. メッセージ配信API（+メッセージ配信） 2.8. Webhook 処理フロー	シーケンス図を修正 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 処理の順番毎に【1】 【2】 …のように番号を振る</li> <li>• 処理の順番を矢印の高低差で表すよう修正</li> </ul>



# はじめに

本ドキュメントはKDDI Message CastにおけるAPIの概要をご理解いただくための説明資料となります。

APIとはKDDI Message Castと企業さま側サーバーを接続するAPIです。  
「KDDI Message Cast\_メッセージGW版API仕様書」とあわせてご参照ください。  
また、本件はMSG-GW接続をご利用の場合に限ります。

また、サービス手続きに関しては以下関連ドキュメントがございますのでこちらもあわせてご利用ください。

- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_サービス利用手続きガイド (APIプラン)
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_サービス利用申込書 (APIプラン) \_SMS
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_サービス利用申込書 (APIプラン) \_+メッセージ
- ✓ 【別紙】SMS結果通知先設定申込書 (APIプラン)
  
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_販売パートナー手続きガイド (APIプラン)
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_パートナープログラム申込書 (APIプラン)
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_パートナー経由アカウント開設申請書 (APIプラン) \_SMS
- ✓ KDDI\_Message\_Cast\_パートナー経由公式アカウント開設申請書 (APIプラン) \_+メッセージ
- ✓ 【別紙】SMS結果通知先設定申込書 (APIプラン) \_パートナー経由
  
- ✓ **APIのご利用にあたり、別途定める「KDDI Message Cast サービス利用規約」の順守をお願いいたします。**



## はじめに

---

- 当該資料に記載されている内容については、本日時点の内容となっております。今後の開発状況などにより、仕様変更、ご提供サービス内容・開始時期の変更がある場合がございますので、予めご了承ください。
- 当該資料は守秘義務契約に基づく内容が含まれております。
- 当該資料には、KDDI株式会社及びSupership株式会社（以下、併せて「当社」といいます。）が独自に調査・収集した情報ならびに当社が独自に考案した財産的価値がある情報を含んでおります。従って、本書および内容は貴社でご検討していただくための内部資料としてのみご利用ください。

# 用語の定義

用語	定義
API	SMSや+メッセージの配信や配信ステータス確認などをするインターフェースを提供します。
APIサーバー	APIを利用するための弊社が保有しているサーバー。
botId	アカウントを指定するID メッセージ配信やステータス確認API利用時に使用
JSON形式	APIをリクエストする際にお客さまサーバーとKDDI側サーバー間でデータをやり取りするときに使用する転送形式。
SMS結果通知	SMSを配信した際に配信状況のステータスを自動で通知する通信
SMS-MOメッセージ通知	SMSを受信した端末で返信をしたときに返信内容がお客様側サーバーへ通知される通信
SMSフォールバック	+メッセージアプリをインストールしていないエンドユーザーを判別し、SMS配信を行うこと
Webhook	エンドユーザーが+メッセージアプリによる返信、既読などの動作ステータスを通知する通信（メッセージ受信/メッセージ更新状態通知/簡易返信通知/新規ユーザー送信）。
アカウント	KDDI Message Castが企業へ付与するアカウント
アクションボタン	ユーザーが選択式で企業にメッセージを送れるボタン型メッセージタイプ
エンドユーザー	SMS・+メッセージを受信するユーザー。
ケーパビリティ判定	送信先端末に+メッセージアプリがインストールされているか判定する機能。
キャリア	移動体通信事業者。携帯電話の物理的な移動体通信網を自社で保有し、加入者に直接通信サービスを提供する事業者。

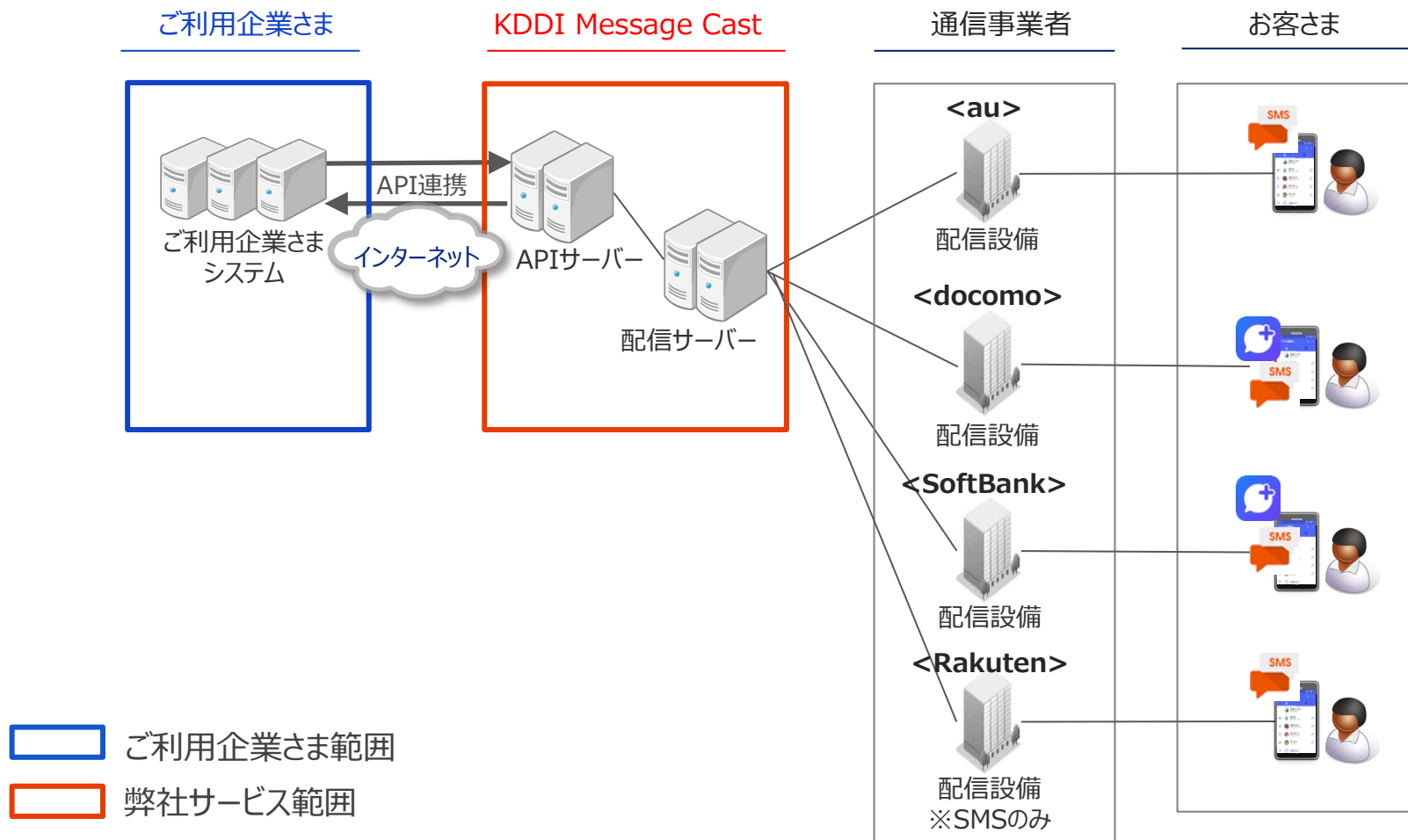


# 用語の定義

用語	定義
トークン	+メッセージおよびSMSを配信する際に使用。各企業さまごとに払い出す。
認証ID	弊社サーバーへ接続するために企業さまごとに払い出しているID。
配信ステータス	SMSや+メッセージの送信状況および携帯電話への着信結果。
リッチカード	画像、リンク等複数のメッセージを組み合わせたカード型複合メッセージ

# 設備構成とサービスご提供範囲

KDDI Message CastはAPIサーバー、配信サーバーから通信キャリアを介し+メッセージ及びSMSアプリへ情報の送受信を行う仕組みです。送受信はJSON形式のデータでAPIを活用して行われます。



# APIご利用開始手順とリリース前のご確認事項

APIによる開発を行うには、まずは以下の手順で事前設定を行ってください。

※SMSを配信する場合、SMS結果通知はオプションのためお申込みをされない場合は、項番1,2,5のみご確認ください。

1. KDDI Message Castのお申し込みを行ってください。  
MSG-GWに接続を許可するIPアドレス、Webhook URL、SMS結果通知先URLの記載をお願いいたします。  
(URLが決まっていない場合は後日でも問題ありません)  
※セキュリティの観点より、httpsから始まるURLの設定を推奨いたします。
2. アカウント通知書を発行しますので、そこへ記載されているBasic認証IDとBasic認証パスワードでMSG-GWへ接続ができるか確認ください。
3. 企業さま側にてAPI配信用サーバーを手配してください。
4. 自社サーバーでWebhookおよびSMS結果通知によるEvent通知リクエストを受信する準備を行ってください。  
(ステータスコード200を返却※)
5. API仕様書に記載のAPIが利用できるかリクエストを行ってください。
6. WebhookおよびSMS結果通知によるEventリクエストが正常に自社サーバーまで届いているかを確認ください。

※WebhookおよびSMS結果通知をお申込みいただいた場合は、ご利用企業さまがご用意いただいたサーバーのURLあてに、疎通確認試験を実施させていただきます（疎通確認の内容及び結果毎の対応については次ページ参照）。

# APIご利用開始手順とリリース前のご確認事項

## 疎通確認の内容

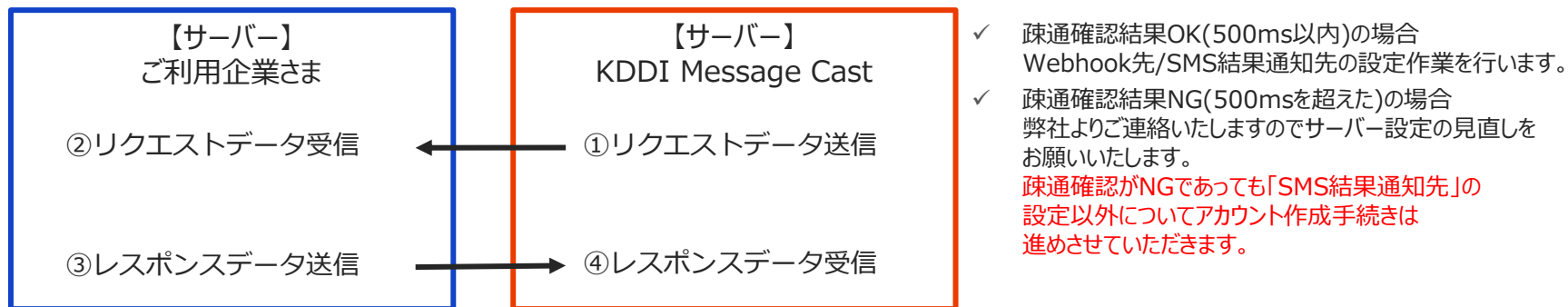
②～④の合計時間が500ms以内になるよう(※)にご利用企業さま側のサーバーで設定をお願いいたします

- ① 企業さま側サーバーに対して弊社よりPOSTデータを送ります。
- ② POSTデータを受信します
- ③ ステータスコード200を返却します。
- ④ 弊社にてレスポンスデータを受信します。

※ ③でステータスコードが500msを経過しても返却されない場合、弊社側サーバーではリトライと判断し3回までリトライ（Webhook/SMS結果通知の再通知）を行います。

3回リトライを実施してもステータスコード200が返却されない場合は、弊社側サーバーへの負荷を考慮し、4回目以降のリトライは行いません。

配信ステータス確認APIより、ご利用企業さまご自身でメッセージのステータスを取得してください。





# 1. API利用時の注意事項

# 1.1. セキュリティ要件及び通信方式

企業さま側システムとKDDI Message Castの通信環境はIPフィルタ、Basic認証、トークンでの認証を行っております。

## IPフィルタ

ご利用企業さまのアクセス元固定IPを弊社システムにて設定いたします。（申込書へご記入いただけます）

## Basic認証

各企業さま毎にBasic認証IDとパスワードを払い出しいたします。（各企業さまに1つ）

## トークン

ヘッダに指定のトークンを付与してAPIをコールします。

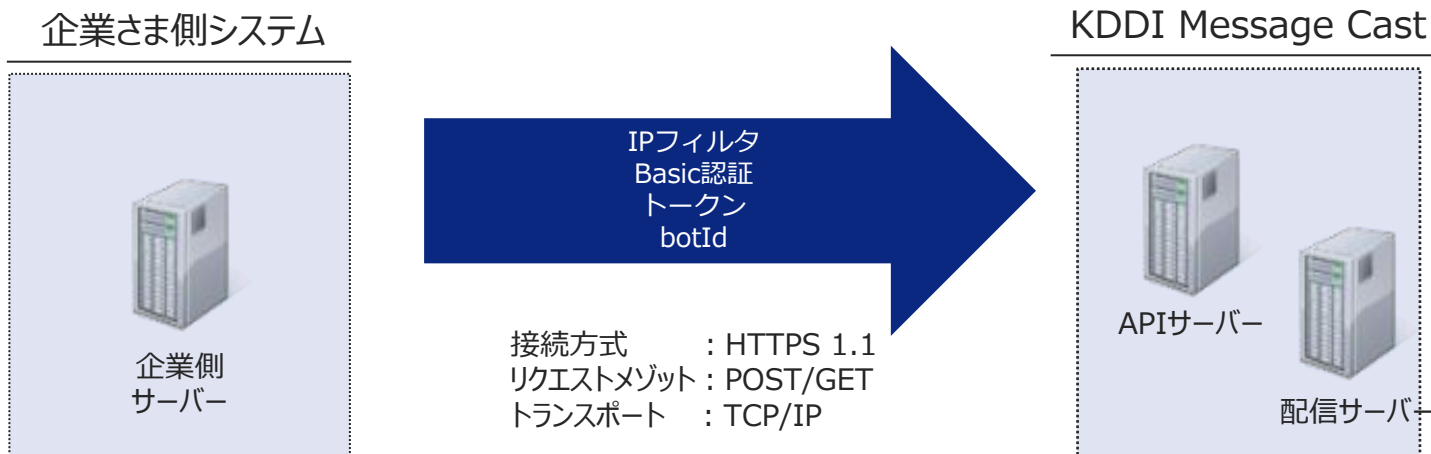
APIをご利用の場合は、Basic認証ID、トークン、botIdを指定していただく必要があります。

SMSを送る場合：Bearer smsonlyと固定値を設定してください。

+メッセージを送る場合：アカウント通知書に記載のトークンを設定してください。

## botId

APIをリクエストする際のURLに指定してください。botId毎に何通メッセージを送ったかを弊社で管理しております。



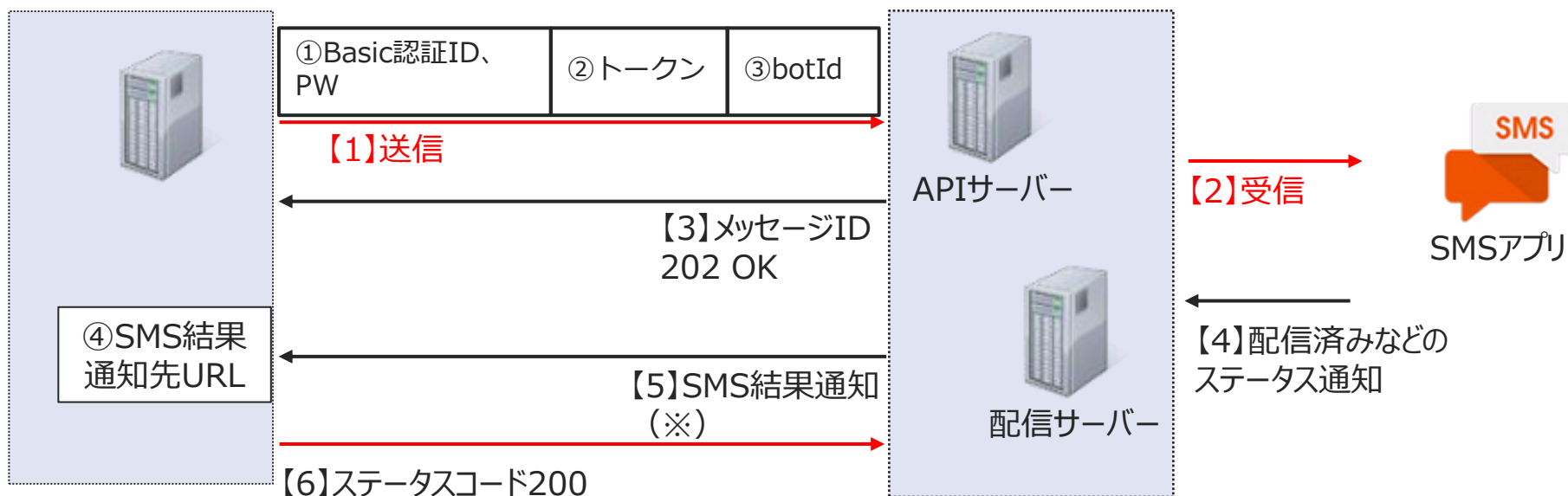
# 1.1. 通信方式（SMS利用の場合）

- ✓ KDDI Message Cast提供のAPI利用方法は①Basic認証ID、PW（ヘッダー）、②トークン（ヘッダー）、③botId（パス）が必要となります。
- ✓ エンドユーザーからの返信及び既読などのステータスは④SMS結果通知（エンドポイント）でアカウントパラメータ申込書にご記入いただいたURLへ通知を行います。
- ✓ SMS結果通知を受信したらステータスコード200を返却するようにしてください。
- ✓ リクエストする際の文字コードはUTF-8となります。

ご利用企業さま側システム

KDDI Message Cast

エンドユーザー



(※) 指定可能なSMS結果通知先URLは1つのbotIdに対して1つです。複数をご希望の場合は、追加でお申し込みください。

→ …企業さま側からのリクエスト・レスポンス  
← …企業さま側へのレスポンス

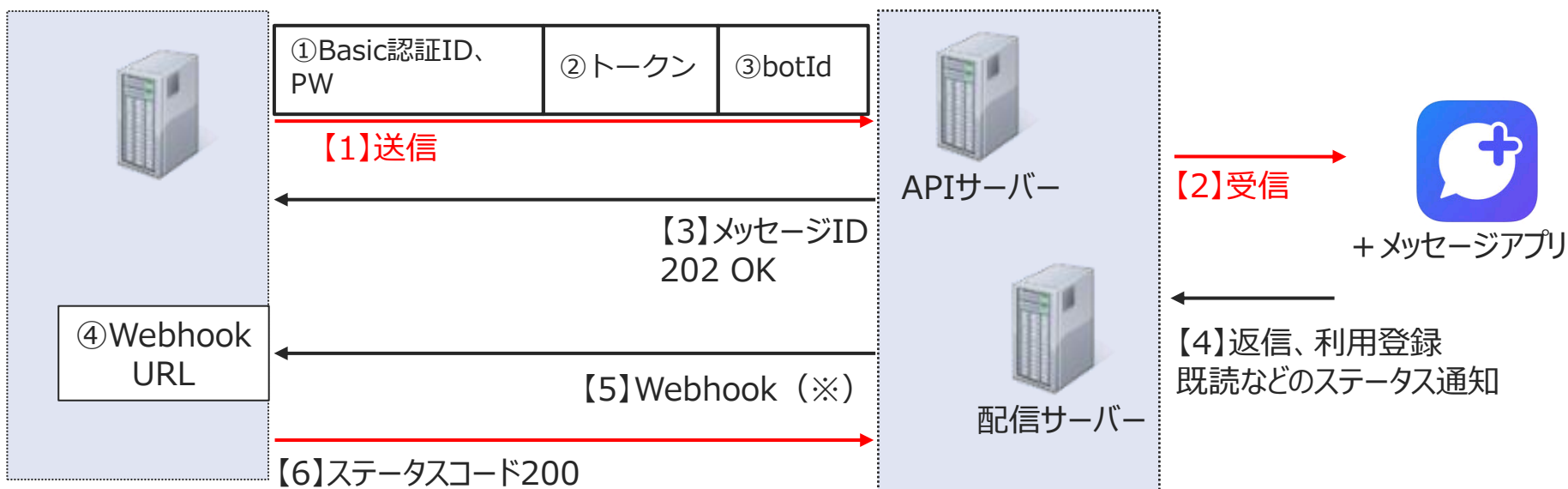
# 1.1. 通信方式（+メッセージ利用の場合）

- ✓ KDDI Message Cast提供のAPI利用方法は①Basic認証ID、PW（ヘッダー）、②トークン（ヘッダー）、③botId（パス）が必要となります。
- ✓ エンドユーザーからの返信及び既読などのステータスは④Webhook（エンドポイント）でアカウントパラメータ申込書にご記入いただいたURLへ通知を行います。
- ✓ Webhookを受信したらステータスコード200を返却するようにしてください。
- ✓ リクエストする際の文字コードはUTF-8となります。

ご利用企業さま側システム

KDDI Message Cast

エンドユーザー



(※) 指定可能なWebhook URLは1つのbotIdに対して1つです。  
複数をご希望の場合は、追加で公式アカウントをお申し込みください。

→ …企業さま側からのリクエスト・レスポンス  
← …企業さま側へのレスポンス



## 1.2. 配信メッセージ結果の保管について

MSG-GWでは自動で配信結果を取得してサーバーへ保管される、というシステムはありません。

企業さまにて配信ステータス確認API、Webhook（メッセージ受信/メッセージ更新状態通知/簡易返信通知/新規ユーザー送信）またはSMS結果通知APIで配信結果のご確認をお願いいたします。

配信結果を取得したい場合は、配信ステータス確認APIをご利用ください。

メッセージのステータスを確認できる期間は下記の表のとおりです。

	+メッセージ	SMS
au	31日間	31日間
docomo	31日間	
SoftBank	31日間	
Rakuten	-	



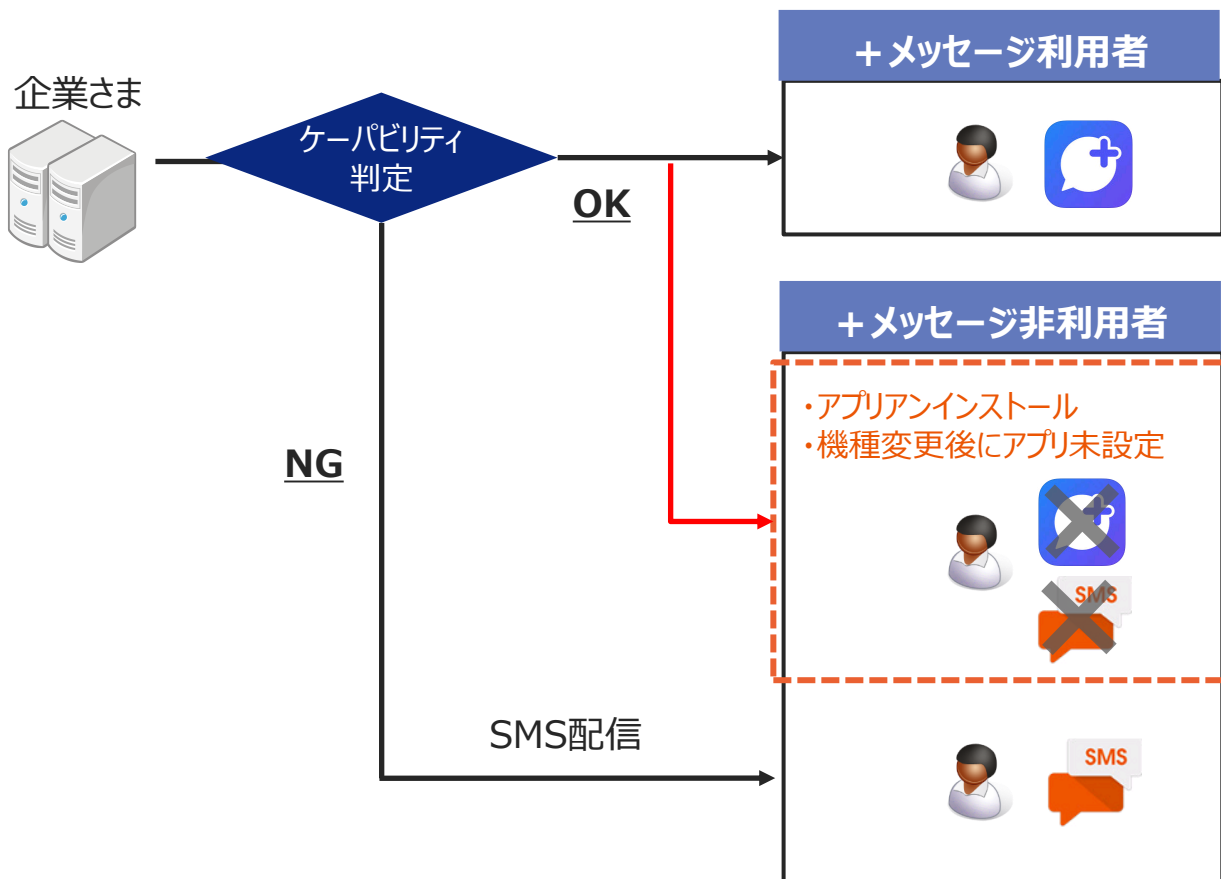
## 1.4.メッセージが未到達となる場合

SMS、+メッセージが未到達となる場合があるため、ユースケースによって使い分けていただきますようお願いいたします。

	未到達となる場合	想定利用ユースケース
SMS	<ul style="list-style-type: none"><li>・端末が受信できない状態にある場合（電源OFF・圏外）</li></ul>	<p>即時配信が必要な認証</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会員登録時の端末認証</li><li>・ログイン時の二段階認証</li></ul>
 <b>プラスメッセージ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・端末が受信できない状態にある場合（電源OFF・圏外）</li><li>・アプリをアンインストールしている場合</li><li>・機種変更後アプリ設定をしていない場合</li></ul>	<p>お客さまへの案内、 お客さまとの双方向通信</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ユーザー問い合わせ</li><li>・動画、画像を含む案内</li><li>・料金督促、住所変更</li><li>・予約リマインド</li></ul>

## 1.5.SMSフォールバック利用時の留意点

+メッセージアプリを利用していないエンドユーザーのうち、「アプリをアンインストールしている場合」および「機種変更後にアプリの設定を行っていない場合」でも、ケーパビリティ判定はOKとなりますが、フォールバック対象外となり+メッセージ・SMSどちらも到達しません。認証等の即時配信が必要な場合は、SMSでの配信をお願いいたします。





## 2.提供API

## 2.1. 提供API一覧

企業さまにご提供するAPI一覧は下表の通りとなります。

API名	メソッド	説明	SMS	+メッセージ
メッセージ配信	POST	宛先にエンドユーザーの携帯電話番号を指定し、+メッセージ及びSMS配信が可能です。	○	○
配信ステータス確認	GET	+メッセージ及びSMS配信したメッセージのステータスとIDを返却します。	○	○
SMS配信結果通知	-	SMSの配信結果を指定のURLへ通知します。	○	-
SMS-MO メッセージ通知	POST	メッセージ配信APIにより配信されたSMSに対してエンドユーザーが端末よりメッセージを返信すると、返信されたメッセージ内容をご利用企業さまのサーバーの指定のURLへ通知します。 ※双方向SMSオプションへのお申込みが必須となります。	○	-
ケーパビリティ判定	POST	宛先の携帯電話番号に+メッセージアプリがインストールされているかを判別します。	-	○
Webhook通知	-	エンドユーザーが+メッセージで返信やアクションボタンの利用、公式アカウントの利用登録を行った際にKDDI APIサーバーから送信されるリクエストです。 ①message：エンドユーザーからの能動的アクションに関する通知 ②messageStatus：ステータス遷移情報 sent,delivered,displayed,revokedへのステータス遷移時にwebhookにて状態変化を通知 ③response：suggestChipList等でボタンアクションを促した場合、それを契機にエンドユーザーから通知されるアクションの情報 ④newUser：エンドユーザーが新規登録したことを示す情報	-	○
サブスクライバリスト 取得	GET	公式アカウントに対して利用登録をしているエンドユーザーの端末の電話番号をリスト表示する機能。	-	○

## 2.2.メッセージ配信API（SMS配信）

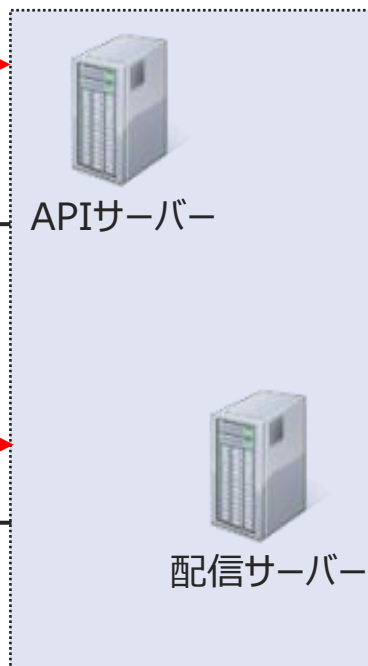
宛先にエンドユーザーの携帯電話番号を指定し、SMS配信を行います。

配信成功、失敗のステータスは、配信結果を確認するAPIでリクエストし、結果を取得します。

ご利用企業さま側システム



KDDI Message Cast



エンドユーザー



【1】メッセージ配信API  
※ヘッダー：X-Fallback  
2：SMS配信

【3】メッセージID  
202 OK

【4】配信ステータス確認 API

【5】確認結果  
メッセージステータス  
ステータス更新日時  
ステータスコード200

【2】配信

→ …企業さま側からのリクエスト・レスポンス

← …企業さま側へのレスポンス

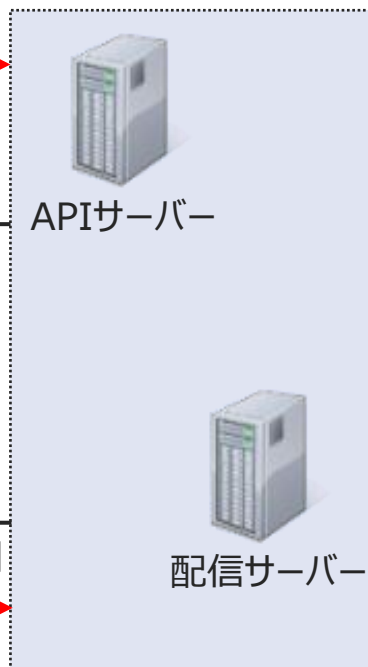
## 2.3. SMS配信結果通知

宛先にエンドユーザーの携帯電話番号を指定し、SMS配信を行います。  
エンドユーザーのSMS配信ステータスが通知されます。

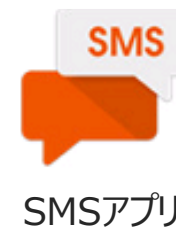
ご利用企業さま側システム



KDDI Message Cast



エンドユーザー



【1】メッセージ配信API  
※ヘッダー：X-Fallback  
2：SMS配信

【3】メッセージID  
202 OK

【5】SMS配信結果通知

【6】ステータスコード200

【2】配信

【4】配信済みなどの  
ステータス通知

→ …企業さま側からのリクエスト・レスポンス

← …企業さま側へのレスポンス



## 2.4. SMS-MOメッセージ通知

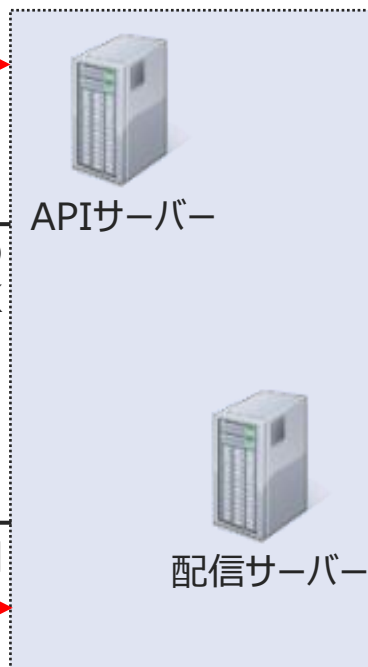
エンドユーザーの端末に届いたSMSに対してメッセージの返信をすることにより、ご利用企業さま側サーバーに指定していたURLへ返信内容が通知されます。

※双方向SMSへの申込み時に発行された共通番号を、APIのリクエストボディ「smsNumber」に指定してください。

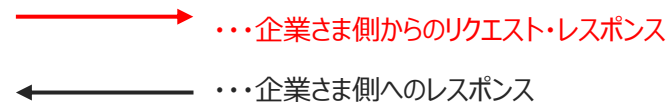
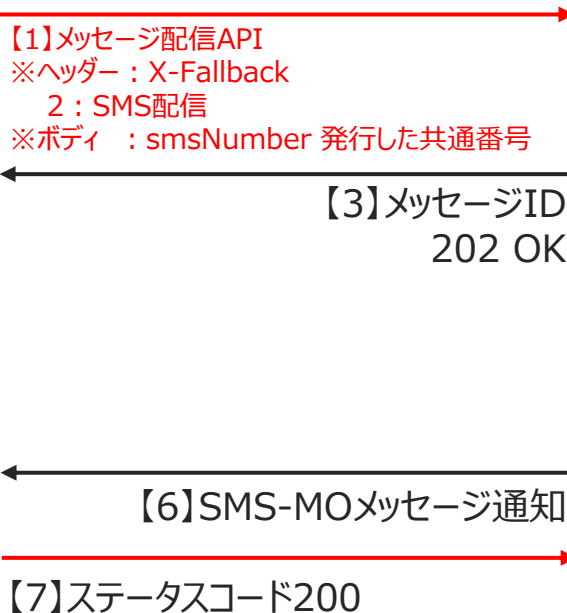
ご利用企業さま側システム



KDDI Message Cast



エンドユーザー



## 2.5. メッセージ配信API

配信する携帯電話番号とキャリアを指定し、様々なタイプのメッセージが送信可能です。  
下表で主要なリクエストパラメータをご紹介します。

項目名		説明
携帯電話番号	userContact	配信先の携帯電話番号を指定します。 ※携帯電話番号は必ず国番号を付けてください。 (例)+818000000000
キャリア	dst	配信したいキャリアに応じ以下5項目の指定が可能です。 0：全てのキャリア 1：(au) 2：(DOCOMO) 3：(SoftBank) 4：(楽天モバイル) ※SMSのみです
発信元表示番号	smsNumber	エンドユーザーの端末上部に表示される電話番号です。 アカウント通知書に記載の番号を指定してください。 SMS-MOメッセージ通知APIを利用する場合は共通番号を指定してください。
配信メッセージ	rcsMessage smsMessage	画像、音声、動画やURLリンク、地図表示、ダイヤル、カレンダー等のエンドユーザーに指定のアクションで返信を促すアクションボタンを配信メッセージのタイプから指定します。
SMSフォールバック +メッセージ配信 SMS配信	X-Fallback	ヘッダー情報の「X-Fallback」へ以下値の指定することで、3種類のメッセージ配信が指定可能です。  0:SMSフォールバック 1:+メッセージ配信のみ 2:SMS配信のみ <b>※SMSのみを利用する場合は0は設定しないでください。</b>

## 2.6. メッセージ配信API レスポンス

メッセージ送信が完了し、正常に受付処理が行われた際のレスポンスです。

項目名		説明
レスポンスコード	HTTP Status	実行結果は以下レスポンスコードをご確認ください。
メッセージID		配信結果APIを確認する際、指定する配信メッセージ固有の番号が返却されます

下表はレスポンスコードと説明です。

HTTP Status	説明
202	送信要求は正常に受付されました。
400	Bad Request : MSG-GWが不正なリクエストを受信した
401	Unauthorized:Basic認証に失敗した
403	Forbidden : ネットワーク不通
500	Internal Server Error : サーバ側内部エラー
502	Bad Gateway : MSG-GWサーバーの状態が異常
503	Service Unavailable.:TPS超過/同時接続超過
504	Gateway Timeout : MSG-GWへメッセージが送信されていない。MSG-GWサーバーがダウン中などの場合に表示

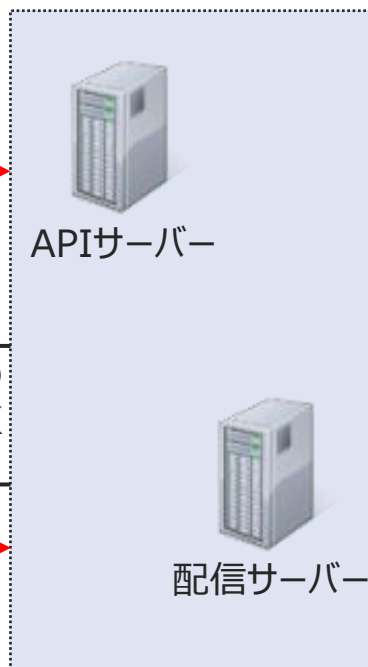
## 2.7. メッセージ配信API（+メッセージ配信）

宛先にエンドユーザーの携帯電話番号を指定し、+メッセージアプリをダウンロード済みのエンドユーザーに対し配信を行います。エンドユーザーの受信や利用登録、既読や返信などのステータスはWebhookで通知されます。

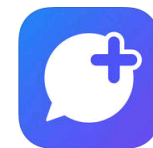
### ご利用企業さま側システム



### KDDI Message Cast



### エンドユーザー



+メッセージアプリ

【1】メッセージ配信API  
※ヘッダー：X-Fallback  
1：+メッセージ配信

【2】配信

【3】メッセージID  
202 OK

【5】Webhook

【4】返信、利用登録  
既読などのステータス通知

【6】ステータスコード200

…企業さま側からのリクエスト・レスポンス

…企業さま側へのレスポンス

## 2.8. Webhook 処理フロー

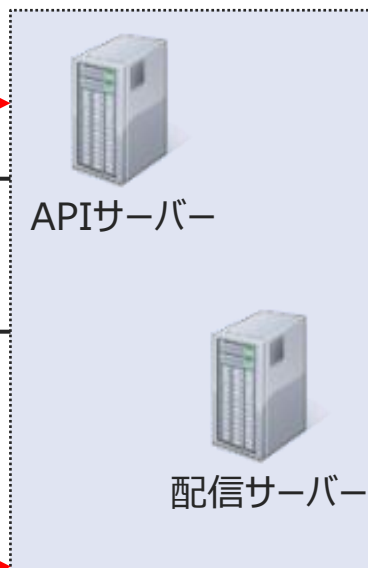
+メッセージアプリへの配信を行った場合、エンドユーザーの受信や利用登録、既読や返信などのステータスはWebhookで通知されます。

Webhookを受信したらステータスコード200を返却するようにしてください。

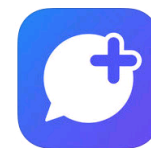
ご利用企業さま側システム



KDDI Message Cast



エンドユーザー



+メッセージアプリ

【1】メッセージ配信API

【3】メッセージID  
202 OK

【5】Webhook  
(message)  
(messageStatus)  
(response)  
(newUser)

【6】ステータスコード200

【2】配信

【4】返信、利用登録  
既読などのステータス通知

## 3.利用イメージ

## 3.1. メッセージ配信API : SMS

SMSアプリへText Messageを配信する際のリクエスト例です。

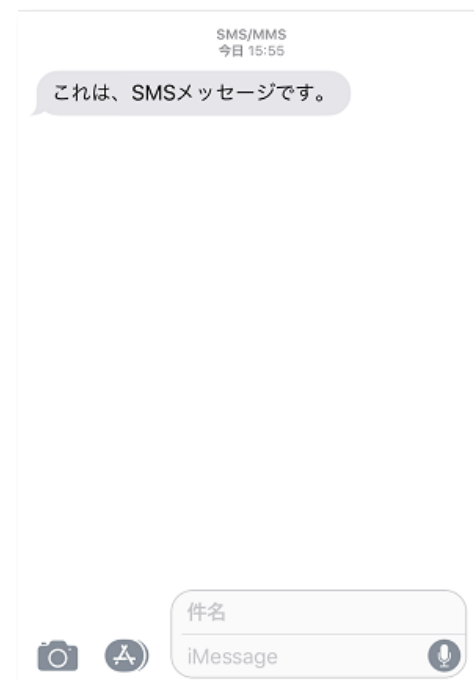
### JSONリクエストサンプル

```
POST: https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した  
値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages  
Content-Type: "application/json"  
X-Plusmsg-mkn-Authorization:固定値 (※)  
X-Plusmsg-tmt-Authorization:固定値 (※)  
X-Plusmsg-gmp-Authorization:固定値 (※)  
X-Fallback: 2  
{  
  "message": {  
    "RCSMessage": {  
      "textMessage": "※RCSMessageDTOは不要ですが入力しても参照  
されずエラーは発生しません."  
    },  
    "messageContact": {  
      "userContact": "+81*0*****"  
    }  
  },  
  "smsmessage": {  
    "smsNumber": "0123456789",  
    "smsText": "これは、SMSテストメッセージです",  
    "smsTextEnc":  
"MFMwjDBvMAEAUwBNAFMwxjC5MMGw4TDDMLsw/DC4MGcw  
WQ=="  
  },  
  "dst": "0"  
}
```

※設定値は1.1. セキュリティ要件及び通信方式のトークン参照

### SMS配信イメージ

発信元表示番号



※サンプルはiOSです

## 3.2. メッセージ配信API : +メッセージ<テキスト>

+メッセージアプリへText Messageを配信する際のリクエスト例です。

### JSONリクエストサンプル

```
POST: https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した
値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages
Content-Type: "application/json"
X-Plusmsg-mkn-Authorization: <auトークン>
X-Plusmsg-tmt-Authorization: <docomoトークン>
X-Plusmsg-gmp-Authorization: <SoftBankトークン>
X-Fallback: 1
```

```
{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "textMessage": "これはテキストメッセージです"
    },
    "messageContact": {
      "userContact": "+81*0*****"
    }
  },
  "dst": "0"
}
```

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはiOSです



## 3.3. メッセージ配信API : SMSフォールバック

32

SMSフォールバックでText Messageを配信する際のリクエスト例です。

### JSONリクエストサンプル

POST: `https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages`

Content-Type: "application/json"

X-Plusmsg-mkn-Authorization: <auトークン>

X-Plusmsg-tmt-Authorization: <docomoトークン>

X-Plusmsg-gmp-Authorization: <SoftBankトークン>

X-Fallback: 0

```
{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "textMessage": "これは、テキストメッセージです"
    },
    "messageContact": {
      "userContact": "+81*0*****"
    }
  },
  "smsmessage": {
    "smsNumber": "0123456789", 発信元表示番号
    "smsText": "これは、SMSメッセージです",
    "smsTextEnc":
      "MFjwDBvMAEAUwBNAFMw4TDDMLsw/DC4MGcwWQ=="
  },
  "dst": "0"
}
```

### +メッセージ・SMSアプリのどちらかに配信



※サンプルはiOSです

## 3.4. メッセージ配信API : +メッセージ<メディア>

33

+メッセージアプリへメディア（画像・音声・動画）ファイルを配信する際のリクエスト例です。

### JSONリクエストサンプル

POST: `https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages`

Content-Type: "application/json"

X-Plusmsg-mkn-Authorization: <auトークン>

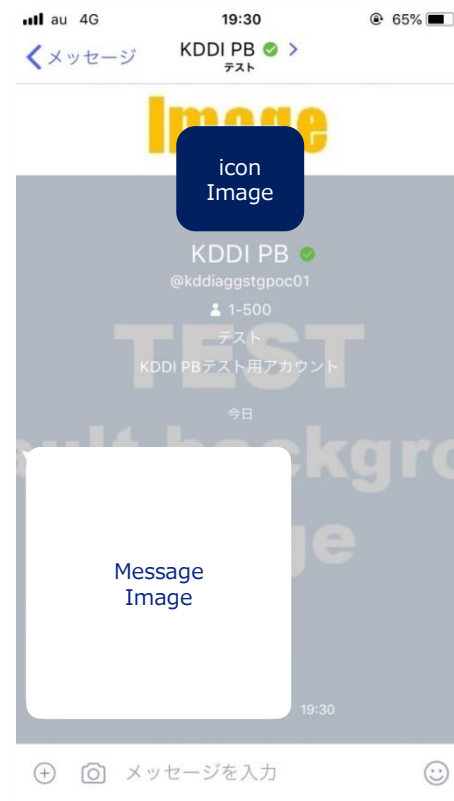
X-Plusmsg-tmt-Authorization: <docomoトークン>

X-Plusmsg-gmp-Authorization: <SoftBankトークン>

X-Fallback: 1

```
{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "fileMessage": {
        "fileMIMEType": "image/jpeg",
        "fileName": "lena_hello",
        "fileSize": 81280,
        "fileUrl": "https://*****_pc.jpg",
        "thumbnailFileName": "lena_hello_thumbnail",
        "thumbnailFileSize": 95315,
        "thumbnailMIMEType": "image/png",
        "thumbnailUrl":
"https://*****/lena_panic.PNG"
      }
    },
    "messageContact": {
      "userContact": "+81*0*****"
    }
  },
  "dst": "1"
}
```

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはiOSです

## 3.5. メッセージ配信API : +メッセージ<地図情報> 34

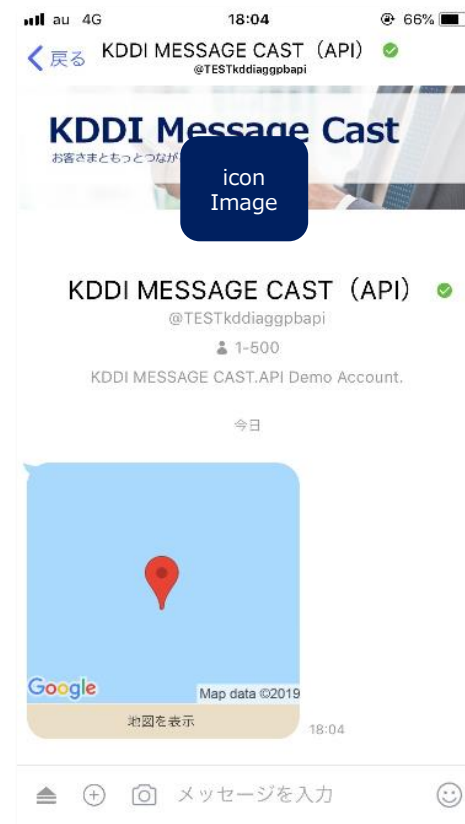
+メッセージアプリへ指定した地図情報を配信する際のリクエスト例です。

### JSONリクエストサンプル

```
POST: https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した
値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages
Content-Type: "application/json"
X-Plusmsg-mkn-Authorization: <auトークン>
X-Plusmsg-tmt-Authorization: <docomoトークン>
X-Plusmsg-gmp-Authorization: <SoftBankトークン>
X-Fallback: 1
```

```
{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "geolocationPushMessage": {
        "expiry": "2018-08-03T17:18:24.890Z",
        "label": "日本、〒160-0022 東京都新宿区新宿3丁目",
        "pos": "35.69031083620263 139.70062494277954",
        "radius": 1000.1,
        "timeOffset": 9,
        "timestamp": "2018-08-03T17:15:24.890Z"
      }
    }
  },
  "messageContact": {
    "userContact": "+81*0*****"
  }
},
"dst": "0"
}
```

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはiOSです

## 3.6. メッセージ配信API : +メッセージ<リッチカード> 35

+メッセージアプリへリッチカードを配信する際のリクエスト例です。

“LayoutDTO”及び“MediaDTO”を指定することで、画像の左右表示やリッチカードのサイズ変更指定が可能です。

### JSONリクエストサンプル

POST: `https://{弊社より指定したHOST}/{弊社より指定した値}/v1/fallback/rcs/bot/v1/{botId}/messages`

Content-Type: "application/json"

X-Plusmsg-mkn-Authorization: <auトークン>

X-Plusmsg-tmt-Authorization: <docomoトークン>

X-Plusmsg-gmp-Authorization: <SoftBankトークン>

X-Fallback: 1

```
{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "richcardMessage": {
        "message": {
          "generalPurposeCard": {
            "layout": {
              "cardOrientation": "HORIZONTAL",
              "cardWidth": "SMALL_WIDTH",
              "imageAlignment": "LEFT"
            },
            "content": {
              "description": "PurposeCardコンテンツの説明",
              "title": "Carouselコンテンツタイトル",
              "media": {
                "contentDescription": "コンテンツ 1 の説明",
                "height": "SHORT_HEIGHT",
                "mediaContentType": "image/jpeg",
                "mediaFileSize": 76188,
                "mediaUrl": "https://*****lena_heart.PNG",
                "thumbnailContentType": "image/jpeg",
                "thumbnailFileSize": 95315,
                "thumbnailUrl": "https://*****/lena_hello.PNG"
              },
              "suggestions": [
                {
                  "reply": {
                    "displayText": "test",
                    "postback": {
                      "data": ""
                    }
                  }
                }
              ]
            }
          }
        }
      }
    }
  },
  "messageContact": {
    "userContact": "+81*0*****"
  }
}
```

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはiOSです

※urlは企業さまで用意いただくサーバ先のURLとなります

## 3.7. メッセージ配信API : +メッセージ<カルーセル> (1) 36

+メッセージアプリへ横並びの複数リッチカード“カルーセル”を配信する際のリクエスト例です。  
指定できるリッチカード数は11個までとなります。

### JSONリクエストサンプル

```
POST: https://api.biz-message.kddi.com/v1/rcs/messages
Content-Type: "application/json"
X-Auth-Token: <API Key>
X-Fallback: 1

{
  "message": {
    "RCSMessage": {
      "richcardMessage": {
        "message": {
          "generalPurposeCardCarousel": {
            "content": [
              {
                "description": "Carouselコンテンツ1の説明",
                "title": "Carouselコンテンツ1タイトル",
                "media": {
                  "contentDescription": "コンテンツ1の説明",
                  "height": "TALL_HEIGHT",
                  "mediaContentType": "image/png",
                  "mediaFileSize": 37609,
                  "mediaUrl":
                    "https://maps.googleapis.com/maps/api/staticmap?center=35.690223698458645,139.69993829727173&zoom=14&size=450x250&maptype=roadmap&markers=color:red%7C35.690223698458645,139.69993829727173",
                  "thumbnailContentType": "image/png",
                  "thumbnailFileSize": 95315,
                  "thumbnailUrl": "https://*****/lena_hello.PNG"
                }
              },
              {
                "description": "Carouselコンテンツ3の説明",
                "title": "Carouselコンテンツ3タイトル",
                "media": {
                  "contentDescription": "コンテンツ3の説明",
                  "height": "TALL_HEIGHT",
                  "mediaContentType": "image/png",
                  "mediaFileSize": 37609,
                  "mediaUrl":
                    "https://maps.googleapis.com/maps/api/staticmap?center=35.690223698458645,139.69993829727173&zoom=14&size=450x250&maptype=roadmap&markers=color:red%7C35.690223698458645,139.69993829727173",
                  "thumbnailContentType": "image/png",
                  "thumbnailFileSize": 95315,
                  "thumbnailUrl": "https://*****/lena_hello.PNG"
                }
              }
            ]
          }
        }
      }
    }
  },
  "suggestions": [
    {
      "action": {
        "displayText": "イベントサイトを見る(urlAction)",
        "postback": {
          "data": "データ(postback.data)"
        }
      },
      "urlAction": {
        "openUrl": {
          "url": "http://www.kddi.com/"
        }
      }
    }
  ]
}
```

※次ページへ続きます

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはandroidです  
※urlは企業さまで用意いただくサーバ先のURLとなります

## 3.7. メッセージ配信API : +メッセージ<カルーセル> (2) 37

+メッセージアプリへ横並びの複数リッチカード“カルーセル”を配信する際のリクエスト例です。  
指定できるリッチカード数は11個までとなります。

### JSONリクエストサンプル

※前ページからの続きです

```
{
  "action": {
    "displayText": "(deviceAction)",
    "postback": {
      "data": "データ(postback.data)"
    },
    "deviceAction": {
      "requestDeviceSpecifics": {}
    }
  },
  "description": "Carouselコンテンツ3の説明",
  "title": "Carouselコンテンツ3タイトル",
  "media": {
    "contentDescription": "コンテンツ3の説明",
    "height": "TALL_HEIGHT",
    "mediaContentType": "image/png",
    "mediaFileSize": 95315,
    "mediaUrl":
      "https://*****/lena_hello.PNG",
    "thumbnailContentType": "image/png",
    "thumbnailFileSize": 76188,
    "thumbnailUrl":
      "https://*****/lena_heart.PNG"
  },
  "layout": {
    "cardWidth": "SMALL_WIDTH"
  },
  "messageContact": {
    "userContact": "+81*0*****"
  },
  "SMSMessage": {
    "dst": "0"
  }
}
```

### +メッセージ配信イメージ



※サンプルはandroidです  
※urlは企業さまで用意いただくサーバ先のURLとなります

# 参考資料：APIのテスト実行方法

弊社より提供しているAPIを実行し動作確認をされる場合は、APIを実行するクライアントアプリが必要です。例として、Postmanを利用しての実行方法を記載します。

※認証情報、発信元表示番号、botIdはアカウント通知書に記載のものを使用してください。

- KDDI Message CastのAPIで使用するHTTPメソッドは下記のとおりです。  
POST/GET
  
- API実行に必要な設定情報は下記のとおりです。
  1. リクエストURLとHTTPメソッド  
APIリクエストするURLおよびHTTPメソッドをAPI仕様書を参考に記載してください。  
リクエスト時のURLはアカウント通知書に記載されています。
  
  2. Authorization  
Username：アカウント通知書のBasic認証IDを記載してください。  
Password：アカウント通知書のBasic認証パスワードを記載してください。
  
  3. Headers  
Content-Type：application/jsonと記載してください。  
X-Plusmsg-mkn-Authorization：アカウント通知書に記載のトークンを記載してください。  
X-Plusmsg-tmt-Authorization：アカウント通知書に記載のトークンを記載してください。  
X-Plusmsg-gmp-Authorization：アカウント通知書に記載のトークンを記載してください。  
※SMSを配信する場合は「Bearer smsonly」と固定値を記載してください。  
X-Fallback：API仕様書を参考に記載してください。
  
  4. Body  
リクエストするAPIのJSONコードを記載してください。

次ページ以降では、配信APIおよび配信ステータス確認APIの実行方法を記載します。

# 参考資料：メッセージ配信APIの実行

## ① リクエストに必要なパラメータを設定する。

### ○ リクエストURLとHTTPメソッド

POST    https://api.msg-gw.kddi.com/au/v1/fallback/rcs/bot/v1/botId\_dummy/messages    Send

HTTPメソッド    ホスト    aggid    botId

### ○ Authorization

Params    **Authorization**    Headers (15)    Body    Pre-request Script    Tests    Settings    Cookies

Type    Basic ...

Heads up! These parameters hold sensitive data. To keep this data secure while working in a collaborative environment, we recommend using variables. [Learn more about variables](#)

Username    testUser|    Basic認証ID

Password    .....    Basic認証パスワード

Show Password



# 参考資料：メッセージ配信APIの実行

## ○Headers

KEY	VALUE	DESCR
<input checked="" type="checkbox"/> Content-Type	application/json	
<input checked="" type="checkbox"/> X-Plusmsg-mkn-Authorization	Bearer smsonly	
<input checked="" type="checkbox"/> X-Plusmsg-tmt-Authorization	Bearer smsonly	
<input checked="" type="checkbox"/> X-Plusmsg-gmp-Authorization	Bearer smsonly	
<input checked="" type="checkbox"/> X-Fallback	2	
Key	Value	Description

- ・SMSを配信する場合
  - ↳ Bearer smsonlyと記載。
- ・+メッセージを配信する場合
  - ↳ アカウント通知書に記載のトークンを記載。

0 : SMSフォールバック  
 1 : +メッセージを配信  
 2 : SMSを配信  
 ※SMSのみを配信するときは必ず2を指定してください。

## ○Body

Params	Authorization	Headers (15)	Body	Pre-request Script	Tests	Settings	Cookies
none	form-data	x-www-form-urlencoded	raw	binary	GraphQL	JSON	
1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13			

```

1 {
2   "message": {
3     "messageContact": {
4       "userContact": "+8170xxxxxxx"
5     }
6   },
7   "smsmessage": {
8     "smsNumber": "03xxxxxxx",
9     "smsText": "【SMSサービス正常性確認開始】\r\n個人端末から配信試験実施",
10    "smsTextEnc": "MBAAUwBNAFMwtD8MNMwuWtjXjhgJ3i6io2Vi1nLMBEAC1ALTp672c1rMEswiZFNT+GKZpoTW591vQ=="
11  },
12  "dst": "1"
13 }
  
```

各項目の詳細はAPI仕様書を参考に記載してください。

# 参考資料：メッセージ配信APIの実行

## ②APIを実行しResponseを確認する。

### ②-1 リクエストURLとHTTPメソッド横のSendボタンをクリックしAPIを実行する。



### ②-2 Responseウィンドウを確認する。

The screenshot shows the API client interface displaying the response details. The response is in JSON format and includes the following fields:

```
1 {
2   "message": {
3     "messageContact": {
4       "userContact": "+8170xxxxxxx"
5     }
6   },
7   "smsmessage": {
8     "smsNumber": "03xxxxxxx",
9     "smsText": "【SMSサービス正常性確認開始】\n\n-個人端末から配信試験実施",
10    "smsTextEnc": "MBAAUwBNAFMwtTD8MNMWuwtjXjhgJ3i6io2Vi1nLMBEAC1ALTp672czMEswiZFNT+GKZpoTW59lvQ==",
11    "dst": "1"
12  }
13 }
```

The response status is **202 Accepted**. The response time is 1113 ms and the size is 591 B.

The response body is displayed in the "Body" window, showing the following fields:

```
1 {
2   "smsmessage": {
3     "orderId": "05840e5f-fbe3-41c3-8af9-a3e363d5a678",
4     "status": "pending",
5     "msgId": "05840e5f-fbe3-41c3-8af9-a3e363d5a678",
6     "timestamp": "2022-03-22T11:44:30.231Z"
7   },
8   "Destination": "sms"
9 }
```

Red boxes highlight the following elements:

- Requestウィンドウ (Request window)
- Responseウィンドウ (Response window)
- ResponseのHTTPステータス (Response HTTP status)
- 配信ステータス確認APIを実行する場合はmsgIdを控えておいてください。 (When executing the delivery status confirmation API, please keep the msgId.)
- 各項目の詳細はAPI仕様書を参考に記載してください。 (Please refer to the API specification for details of each item.)

# 参考資料：配信ステータス確認APIの実行

42

## ① リクエストに必要なパラメータを設定Sendボタンをクリックする。

○リクエストURLとHTTPメソッド



○Authorization/ Headers

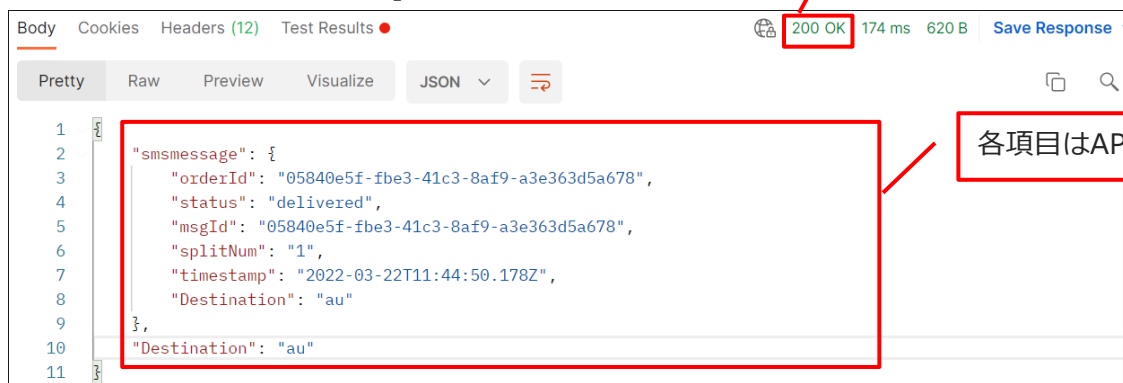
配信APIの実行 ①リクエストに必要なパラメータを設定すると同様の値を記載。

○Body

何も記載しない。

## ② APIを実行しResponseを確認する。

ResponseのHTTPステータス



各項目はAPI仕様書を参考にしてください。

# 参考資料：ルート証明書及び中間証明書について 43

ご利用企業さま側とKDDI Message Castの間の通信はHTTPS通信であるため、SSL証明書の検証にはルート証明書、中間証明書が必要になります。

基本的にはご利用企業さま側サーバーに初期で導入されている証明書で問題ないのですが、もしも検証ができなかった場合は下記を参考に、証明書をダウンロードしてください。

✓ ダウンロード用URL

<https://www.amazontrust.com/repository/>

✓ 各種証明書情報

1.サーバー証明

CN = \*.msg-gw-stg.kddi.com / subject=CN = \*.msg-gw.kddi.com

2.中間証明1

C = US, O = Amazon, OU = Server CA 1B, CN = Amazon

3.中間証明2

C = US, O = Amazon, CN = Amazon Root CA 1

4.ルート証明

C = US, ST = Arizona, L = Scottsdale, O = "Starfield Technologies, Inc.",  
CN = Starfield Services Root Certificate Authority - G2

**KDDI**

 **Supership**